

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名

SOLATO ECO-CVTF

供給者の会社名称、

住所及び電話番号

会社名

太陽石油株式会社

住所

東京都千代田区内幸町2丁目2番3号

担当部門

環境安全・品質管理部

電話番号

03-3502-1601

FAX 番号

03-3508-0183

緊急連絡先

担当部署 環境安全・品質管理部

電話番号 03-3502-1601

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:30

推奨用途

無段変速機油

使用上の制限

推奨用途以外への使用は禁止する

整理番号

TOC-327

作成日

2024年8月19日

## 2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性： GHS 分類基準に該当しない

健康に対する有害性： GHS 分類基準に該当しない

環境に対する有害性： GHS 分類基準に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示： なし

注意喚起語： なし

危険有害性情報： なし

注意書き： GHS 分類による注意書きに記載がない場合でも、以降の章に記載された情報を参考に、安全対策／応急措置／保管／廃棄に関し十分な配慮を行うこと。

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別 混合物

成分名	含有率 (%)	安衛法 (政令番号)	化管法 (種別/令番号)
鉱油	90 - 100	第 9 - 168 号	対象外
潤滑油添加剤	5 - 10	対象外	対象外

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合：
- 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
  - 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：
- 水と石鹼で付着した部分を洗うこと。
  - 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合：
- 清浄な水で十分に眼を洗うこと。
  - 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：
- 無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受けること。
  - 口の中が汚染されている場合には、水で十分洗うこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：
- 飲み込むと、下痢、嘔吐する可能性がある。
  - 眼に入ると炎症を起こす可能性がある。
  - 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項：
- 現在のところ有用な情報なし。
- 医師に対する特別な注意事項：
- 現在のところ有用な情報なし。

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：
- 霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。
  - 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
  - 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
- 使ってはならない消火剤：
- 棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。
- 火災時の特有の危険有害性：
- 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生する場合がある。
- 特有の消火方法：
- 火元への燃焼源を断つ。
  - 周囲の設備等に散水して冷却する。
  - 火災発生場所周辺の関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：
- 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置：
- ・ 作業の際には、必ず保護具を着用する。
  - ・ 大量の場合は、漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項：
- ・ 河川・下水道等に流出し、環境汚染を起こさないよう注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び  
機材：
- ・ 土砂、ウエス等に吸収させ回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。
  - ・ 大量の場合は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器等に回収する。
  - ・ 海上の場合、オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸収マットなどで吸い取る。薬剤を用いる場合には国土交通省令・環境省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
- 二次災害の防止策：
- ・ 漏出時は、事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
  - ・ 周囲の着火源を取り除く。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
- 技術的対策：
- ・ 指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行うこと。
  - ・ 炎、火花又は高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。
  - ・ 静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。
  - ・ 容器から取り出す時はポンプなどを使用すること。細管を用いて口で吸い上げてはならない。飲まない。
  - ・ 皮膚に触れたり、目に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。
  - ・ 粉じん、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 注意事項：
- ・ 換気及び火気などへの注意が必要である。
- 安全取扱注意事項：
- ・ 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の全体換気、局所排気を行う。
- 接触回避：
- ・ ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
- 衛生対策：
- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
  - ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 保管：
- 安全な保管条件：
- ・ 直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。
  - ・ ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。

- ・ 熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。
  - ・ 危険物の表示をして保管する。
- 安全な容器包装材料：
- ・ 空容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂することがある。
  - ・ 容器は、溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度／

濃度基準値：

化学名：	管理濃度	日本産業衛生 学会	ACGIH	濃度基準値
鉱油：	-	3mg/m <sup>3</sup>	TWA: 5mg/m <sup>3</sup>	-
潤滑油添加剤：	-	-	-	-

- 設備対策：
- ・ 作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
  - ・ 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具：

- 呼吸器用保護具：
- ・ 状況に応じて防毒マスク（有機ガス用）等を着用する。

- 手の保護具：
- ・ 状況に応じて耐油性保護手袋等を着用する。

- 眼、顔面の保護具：
- ・ 状況に応じて保護眼鏡等を使用する。

- 皮膚及び身体の保護具：
- ・ 状況に応じて保護衣等を着用する。

- 特別な注意事項：
- ・ 現在のところ有用な情報なし

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
色：	淡黄色
臭い：	わずかな臭い
融点・凝固点（滴点・流動点）	-50.0°C（流動点）
沸点又は初留点及び沸点範囲：	情報なし
可燃性：	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界：	1-7vol%（推定値）
引火点：	208°C（クリーブランド開放式）
自然発火点：	情報なし
分解温度：	情報なし

pH：	情報なし
動粘性率：	27.8mm <sup>2</sup> /s (40°C)
溶解度：	水：不溶
n-オクタノール／水分配係数：	情報なし
蒸気圧：	情報なし
密度及び／又は相対密度：	0.85g/cm <sup>3</sup> (15°C)
相対ガス密度：	情報なし
粒子特性：	情報なし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性：	・ 通常の使用条件では安定であり、反応する可能性は低い。
化学的安定性：	・ 通常の保管条件では安定である。
危険有害反応可能性：	・ 通常の使用条件において危険有害な反応を起こす可能性は低い。
避けるべき条件：	・ 高熱及び混触危険物質との接触。
混触危険物質：	・ ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質。
危険有害な分解生成物：	・ 燃焼の際には一酸化炭素等が発生する可能性がある。

---

## 11. 有害性情報

製品の危険有害性区分については、混合物の分類基準に基づいて分類を実施した。

急性毒性（経口）： 鉱油	・ 区分外 LD50 > 5000mg/kg（ラット）
急性毒性（経皮）： 鉱油	・ 区分外 LD50 > 5000mg/kg（ラット）
急性毒性（気体）： 鉱油	・ 分類対象外
急性毒性（蒸気）： 鉱油	・ 分類対象外
急性毒性（粉塵ミスト）： 鉱油	・ 区分外 LC50 > 5mg/L（ラット 4h）
皮膚腐食性／刺激性： 鉱油	・ 区分外 長期間又は繰り返し接触した場合には、皮膚脱脂による皮膚炎を起こす可能性があるため注意すること。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性： 鉱油	・ 区分外 ウサギによる複数の眼刺激試験において眼刺激性に区分する結果は得られていない。

呼吸器感作性： 鉱油	・ 分類できない。
皮膚感作性： 鉱油	・ 区分外 ビューラーテスト（モルモット）により皮膚感作性なしとの結果である。
生殖細胞変異原性： 鉱油	・ 区分外 広範囲な変異原性試験（in vivo 及び in vitro）が実施されているが、大部分の結果から、変異原性を示す結果は得られておらず、生殖細胞変異原性なしと判断する。
発がん性： 鉱油	・ 区分外 使用されている基油は、高度精製基油（IP346 法による DMSO 抽出物量 3%未満）であり、IARC では、グループ 3（ヒトに対して発がん性について分類できない）に分類され、ACGIH でもほぼ同様の分類がなされている。EU による評価では発がん性物質としての分類は適用される必要はない。
生殖毒性／授乳への影響： 鉱油	・ 区分外／区分外 ラットによる発育毒性及び生殖毒性試験から得られた知見により、これら毒性示す結果は得られておらず、生殖毒性なしと判断する。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 鉱油	・ 区分外 急性試験による各種特定臓器への単回ばく露毒性は認められていない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 鉱油	・ 区分外 経皮及び吸入投与による 4 週間から 2 年間の反復毒性試験を行ったが、全身に対する影響は確認されなかった。
誤えん有害性： 鉱油	・ 区分外

## 12. 環境影響情報

製品の危険有害性区分については、混合物の分類基準に基づいて分類を実施した。

水生環境有害性 短期（急性）： 鉱油	・ 区分外
水生環境有害性 長期（慢性）： 鉱油	・ 区分外
オゾン層への有害性： 鉱油	・ 分類できない
生態毒性・魚毒性：	・ ファットヘッドミノー 96 時間 LL50 > 100mg/L ・ ファットヘッドミノー 14 日間 NOEL > 100mg/L（鉱油）
生態毒性・無脊椎動物毒性：	・ 甲殻類（オオミジンコ）48 時間 EL50/NOEL > 10,000mg/L ・ 甲殻類（オオミジンコ）21 日間 NOEL > 10mg/L（鉱油）
生態毒性・藻類毒性：	・ セレナストルム NOEL > 100mg/L（鉱油）
残留性・分解性：	・ 生分解試験結果は 31%（28 日間）であることから、本質的生分解性を有するが、易生分解性でないと判断する。（鉱油）



## 15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報：

消防法	・ 危険物 第四類引火性液体 第三石油類 危険等級III
化学物質排出把握管理促進法	・ 非該当
労働安全衛生法	・ 第 57 条の 2 通知対象物（鉱油） ・ 第 57 条 名称表示物質（鉱油）
毒劇物取締法	・ 非該当
水質汚濁防止法	・ 油分排出規制（5mg/L 許容濃度）
下水道法	・ 鉱油類排出規制（5mg/L 許容濃度）
海洋汚染防止法	・ 有害液体物質 X 類物質

---

## 16. その他の情報

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱事業者提供されるものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。また、記載されている情報は改訂日時点での情報を基に作成したものであり、その内容について保証するものではありません。各種法令改正や製品情報の改訂により今後も内容が変更されますので、販売・流通事業者は、取扱事業者に対し、常に最新の安全データシートを提供するようお願いいたします。

---